



Clos Fornelli

クロ・フォルネリはコルシカ（コルス）島東部に位置する。島の西海岸は断崖絶壁が続いているが、ティレニア海に面した東海岸には島でも数少ない平野が広がり、ところどころラグーン（潟）も見られる。ドメーヌは中部アレリア近辺、牡蠣やムール貝の養殖が行われているディアヌ潟から北西のやや内陸のタローン Tallone 村に本拠を置く。

2,500メートルを越える高峰が連なるコルシカ島の中央部は冷涼多雨で、冬季には雪が積もり、スキー場もあるが、沿岸部の気候は地中海性気候で、暑乾燥した夏と温暖な冬が特徴。日照量はフランスで最も多く、雨は晩秋から初冬、春先に多い。海からも山からも影響を受けるミクロ気候は、ブドウの成熟に理想的な気候。海が夏の暑さを和らげ、感想に対する水分の盾になり、さらに起伏に飛んだ地形が温度と湿度の調整に大きな役割を果たしてくれる。このような条件はブドウの漿果（しょうか）のゆっくりとした成熟とバランスに対して非常に有益で、その結果、ワインのアロマとフィネスの質を保証するものとなっている。